

令和2年度保育サポーター研修会

と き 令和3年3月7日(日) 10:00～12:00

ところ 山口県医師会6階会議室

[報告:常任理事 長谷川奈津江]

春らしい薄曇りの日曜日に、医師家庭の子ども
の保育を支援くださっている保育サポーターさん
を対象とした研修会が、県医師会会議室で開かれ
た。

黒川典枝 山口県医師会男女共同参画部会会長
が挨拶の中で、昨年度は中止となったこの研修会
が今年度は開催されたこと、この状況下で多くの
方が参加されたことへの感謝を述べられた。

引き続き、黒川先生から保育サポーターバンク
の説明があった。山口県の若い医師数の減少や女
性医師数の増加をグラフで示し、離職した女性医
師の復職支援が山口県の医療の重要なカギとなる
ことや保育サポーターバンクの11年間の推移や
現状を話された。

講演

「子育ての期待と不安」

～子どもの気持ち・親の気持ち～

おおしろ小児科 大城三枝子

スライドは用いず、事前にサポーターさんより
寄せられたアンケートや会場内からの質問に答え
る形で講演が進んだ。「どうすれば子どもが感情

のコントロールができて、我慢する力を持てるよ
うになれるでしょうか」との質問があった。反抗
期を迎えた幼児の「いやいや」をどこまで認め、
どこで叱るべきか迷うところである。先生の答え
は、我慢する力を健全に育てていくためには、幼
児が不快な時に、親が子どもに「安全・安心」を
与えることができる関係性が必要である。子ども
の「いや」というエネルギーを安全・安心に包ん
で認めることを繰り返すことで、「いや」から生
じる、泣きや癩癩を収めることができるよ
うになる、とのこと。子どもの言葉や振る舞いに
とらわれないのではなく、子どもの気持ちに
しっかり向き合うことが大切ということ
を、先生のご経験の中から具体的な例を挙げ、
わかりやすく説明された。会場はリラックス
した雰囲気の中、講演中に深く頷かれる参加
者も多く、時間いっぱい質問が続いた。先生
のお話は、幼児期ではなく子どものどの
時期にも共通するものであり、大人同士にお
いても重要なことでは、と楽しく勉強にな
った講演であった。

自動車保険・火災保険・積立保険・交通事故傷害

保険・医師賠償責任保険・所得補償保険・傷害保険ほか

あなたにしあわせをつなぐ

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 代理店
共栄火災海上保険株式会社 代理店

山福株式会社

TEL 083-922-2551